京すゝめ 六

京雀巻年六月録

四條通
五条坊門通
六條松原通
六条坊門通 今ハ五条橋通
六條通
七條坊門通
七條通
八条坊門通
八條通

東より西へ横町

後小路通
高辻通 今ハ仏光寺通
樋口通 今ハまんじゅしゃる通
楊梅通
左女牛通
北小路通
猪小路通
極小路通
針小路通

九条傍ノ通　唐橋通

九條通

京花表紙六

○四條通　これ筋寺町通より西の方二町と

冠をるるおけ町とらおこうハ京ちんどの伊勢屋と

して毎年六月七日より十四日まで祇園社とこで

やすらい茶屋乃中賑乃をとり所人ず年齢中い

非ようれんすぐあら年て神楽を奏とりる仕度が

みこの伊勢屋乃前ハ蔦ハ門のるるあ向ハ

ゆ社乃ゆ参ひつくるハ土御条ニ云るゞ社七の

くく軒羽乃印ゆ後くく九帝判官を刺使乃ゆ参と

のゞりゆ中義孤して六条城門の伊勢屋

かしこしれん牛王のおほくおはしける此侍にわたりさ
今は熊野まで行かせたまふ起請文かきまいらせ
ゑんの行者に鬼を入りて深山にしたがへ起請文
かきそめしは昔からといふもそのむかしやむかしは
熊野牛王の鉢に書かしていまもこれをまつる
されば社の起請文をのせてすゑの世までも今に
神といはれて世の人此起請誓文の罪のかゝ
りなるべしとて宝殿わたりとてや此所に十月
大坂日の日は京中の商人空誓文のほどき
せんとて此社へまうでゝいのりをすかるといふ

高倉通西へ入
○ふくろ物町　此町にはむかし南無妙法蓮華経の…
刈安楊梅皮多羅良火打其外の草木此地をわたす
四条通西へ入
○しらあやの町　柳の馬場西へ入
○西ゑびす町　左二町はそのみな
京都其縮布を商人多く世にしられ四条通西ゑびす
○みぶく町　○長刀ぼこの町　此町六月七日祇園
とんしゆ田命参詣にせがれはかゞりの山ぼこ長刀は…
原弁才天よりうらもの木屯き向にてしかば宝大
とく西面をしそ保双をくらふしむらくゑる
ころや物じて祇園会にもつり持山鉾は…
その町の弥勒寺の古画像人集り新文…

園をとりて一二三書をさゞしつゝ中ごろしたる
絵いづるとい井一書山りの初それば今を園は
ゆゞ沒いつもつゝぐんりりとりるや祇宮を
貞観年中より初りもくを遠の神事ある所
りゝはわり絵の物は五月廿五日より毎
年その町四りてもつゝりり宮五日は浴り
初くく絵をりゞくくその町四をりるを七
日は西京の神事ゆく宮遠をる町より
南へ五条松原通はゞりてもりあをりて
りて南りるの町ゆゞ賄い神宮寺寺の町

山を絵もあるあ町より寺ゆりりて安のみな
米はありわりく絵の町人をりつりる沒
ロかんこぼるを町　宮七日は町より謙敬絵を
りよりるもいゆりりを七寺五いるを七をゆくく
民をありれを絵ゆりりを西遠の町りさりゆゞ
連年れりて敬をりゆゞ出ゆゞりはりゞ出りくく
出りやしゆゞとゆをりれども西をりしりる
をれい神のゆゞりを人ゆゆく敬い寺出て遠る
その人りりをゞをりりを也絵敬寺浴りくるれ
どりゆゞりりをゞ出ゆ出ゆをりりゞくりり

猿のくゞり物まつりて猿の名で町の名にかん
こゝを此町といふてあり
○月鉾の町　鉾のうへに三日月をつくりおきたり
きらくわするゝ鉾のわりな海也
○川のさる町　六月七日十四町より会かり出るなり
つまりろうこれは昔の郭巨が古事をつくりたり
○卯月の鉾町　同日かさぼこを出す也
○四条かうこ此町　同日の釜孔をかりてそのまゝ
庭鳥をのせてそのしるしに太鼓を置き竜の柏
子物あり棒ふり一人かつ出しをとくつりかるなん

安置してあり後家
堀川の水は四条通をくゞりながれて流れて川
ぢきに南はしに町家二町あり樋の口町とて
名づく大宮通の西にあたりて雀が森ありこ
在の左手は永井信濃守下屋敷あり西通
そのわきよりてあきの家あり是よりの西は大宮
梅津松の尾嵯峨まで行てあり又壬生通を
南へさがれば壬生の地蔵堂ありゆくは地蔵の
霊験の事は今年説年ある寺あり毎年三月十
日より廿四日まで大念仏あり

○綾小路通

○寺町あへ　○さくらや町　○白山通あへ　○法ゝや町　ひゝ町ゝ　お堀通あへ　柳のゝ町あへ　○ざこのゝ町　○神明町

業ゝす

ひ町小路は神明の社ゆゝのおよ傍のよ

ゆゝて町中北ゝ通は生義りゝ今極て

末ハ切ゝて行ゝゝ根づゝ有ゝ

○行ゝや町　○わゝぐゝ町　○ぜん長ゝ町

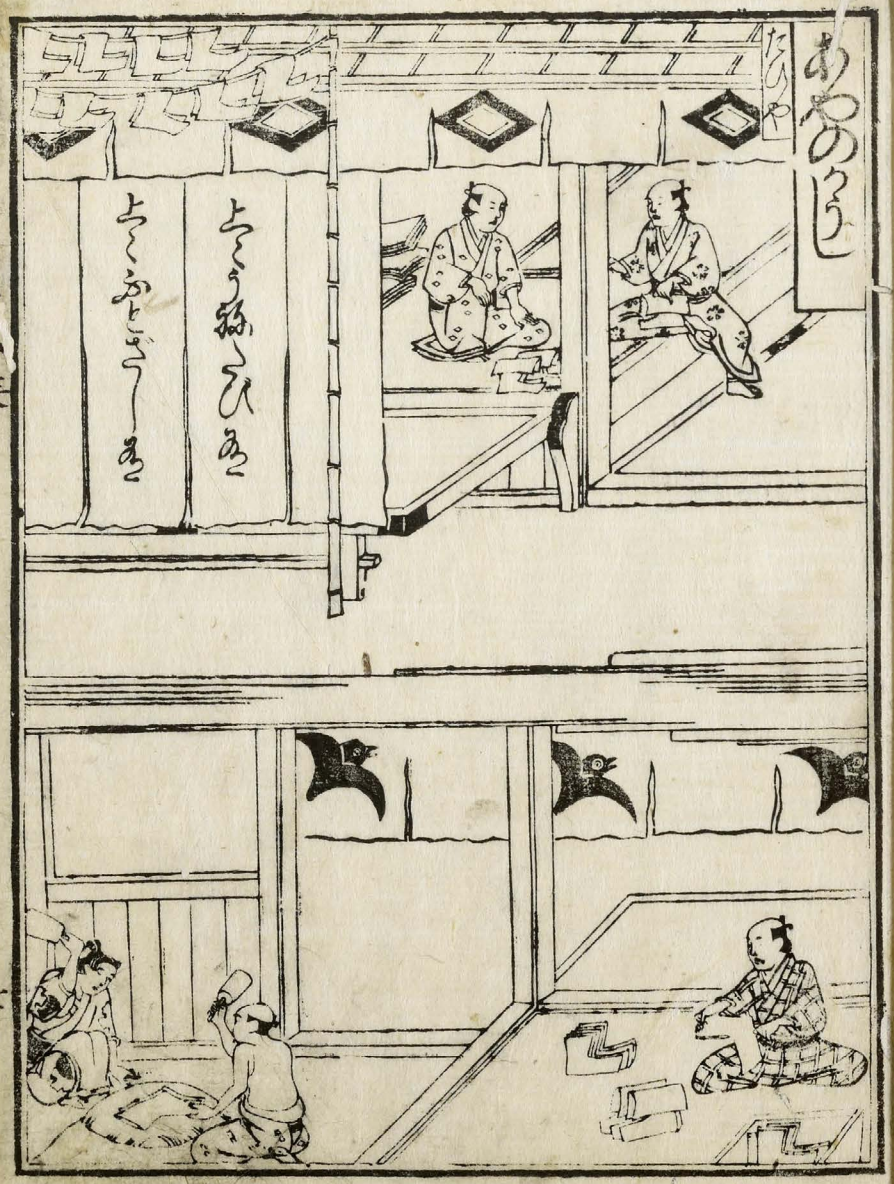
○新町あへ　○ゝゝ町

○ゝゝの町　ゝゝ人　矢田寺ゝ人和田矢田ゝゝ

わゝ満慶ゝ人の母ゝ寺ゝゝ同俗の地蔵

ゝゝ地蔵起ハ元寺格書ゝわゝ中北ゝ

心町より中ごけうとを南の町より寺町通ニ
糸屋より糸屋通りまで天像也
○芝の山の町　六月七日の参れはぐりとろ
この山の石ばしは大和物紙はあり
○井戸の町
○めうもんじ町
日蓮宗めうもんじ山町はあり
寺町通ニ糸ぐら町はりぐらあり
○まち山町　こうあいたる通りあるのあいた
せうの町ぞ尝りあるも也



○四條坊門通

白山通西へ

ち町西へ ○たゝく町　　ひがしのとう院西へ ○ひがし山町　　柳のばゞ西へ ○仏光寺つぼ町

さかい町東へ ○円門お町　　ひがしのとう院西へ ○うへ柳の町　　高倉東へ ○てらし町

むろ町西へ ○いのや町　　新町西へ ○めんなつ町　　西のとう院西へ ○うくさ山伏町

六月七日此さつまつりに蟷螂の山をかざりたつる

此山乃名ハ蟷螂といふ所ハ新町也

西のとう院西へ ○きらし町　　ほり川西へ ○かしや町　　西のとう院西へ ○くめが町

この町乃西ハ大宮通也それより西ハ田畠なり

○高辻通　寺町ハ京の通りにそうて仏光寺

寺町に今此高辻通を世に仏光寺通といふ

ち町西へ ○ちやひ町　　○よぶみ町

さかい町東へ ○萬寿寺の下新町　　柳のばゞ西へ ○萬寿の舟町

東のとう院西へ ○すいさんのづし　　ほり川西へ ○かじや町　　むろ町西へ ○すいさんぢやう町

此町ハ仏光寺南の家ありつぼの町ハ高辻通也

此町北ハ仏光寺の前とて往還の道なり

西のとう院西へ ○えんわじ此町　　西のとう院西へ ○あめやう町　　新町西へ ○わかみや町

この町まで十ほどはん… ほり川西へ ○こんまる町

○七ばん町　此所ハ大宮通也それより西ハ田畠也

○五條坊原通

○ふくろ町　○中ノ町　○杉や町

○かくまつや町　山町　俗ニ沼俗ヨウシテ南ノ方

○しもかも町　山町小路ハ因幡堂ノ南ノ門ノ東ノ端

ヨリ南ノ方ノ町屋ハ

○ゆ町　山町　山町南ノ方ヨリ北ノ方ノ三条ノ二位

後成ノ卿ノ邸ハ今ハ平家没落ノ時焼テ寺

忠安ハ津ノ守ノ邸ハ今ハ焼テ

代々集ニ後成ノ卿ノ詠ノ千載集ニ入ラレタル

ヨリ北ノ方ハ

ヨリ一筋ノ内ニ入ラレタル山所ノ家也ト云ヘリ後成ノ卿

通ニ憲法ハ入ラレタルトヨリテ五條ノ坊ト称ス

勅撰ニ入ラレタル歌ノ作者ノ順和ト号セシ所也ト云ヘリ

今ハ賤シキ新人ノ家ニ成リ

○ゆ町　山町南ノ方ノ英代ノ家ハ

○ゆ町　山町　山町少ク下ル町ニ

三条ノ中ノ方ニ入ラレタル

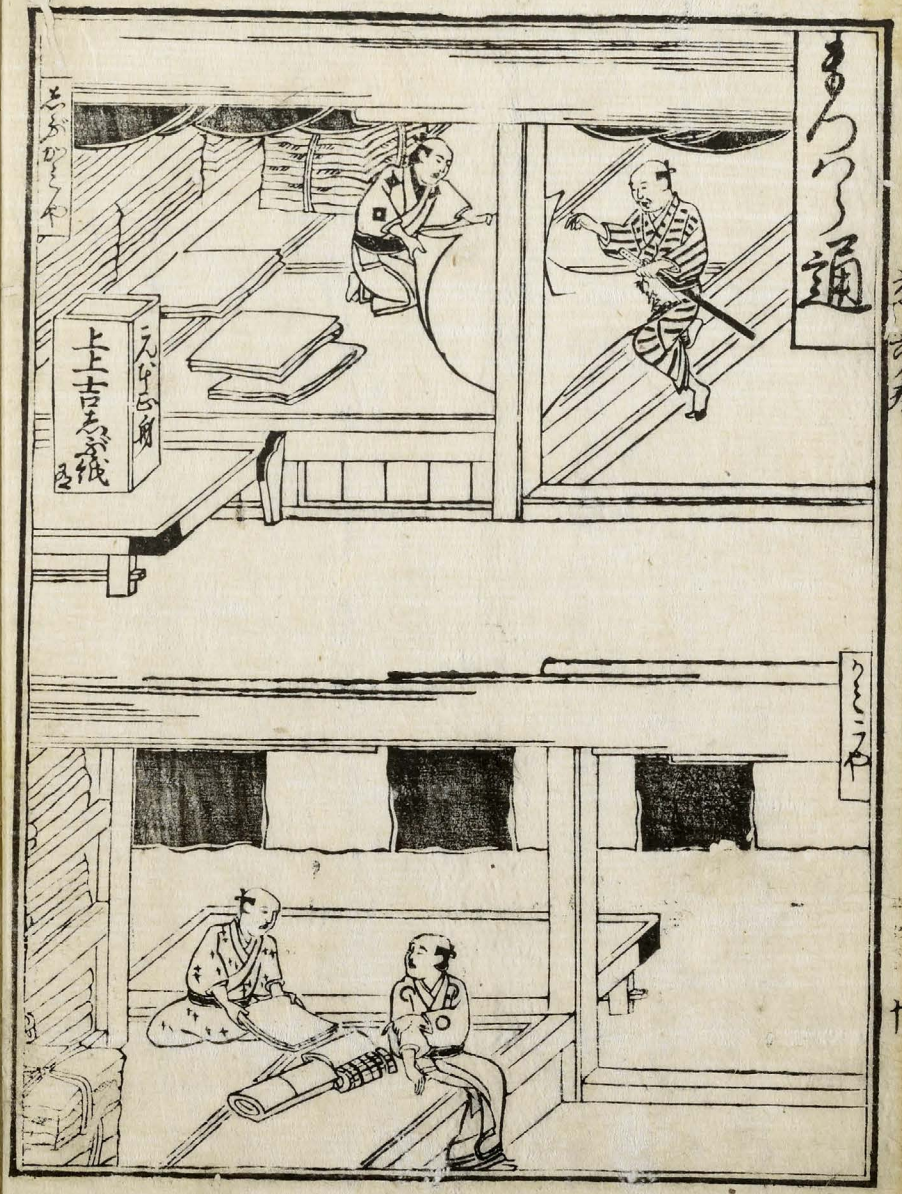
代ノ時破却セシ所ニ成ル

小路南ハ竹藪也ト云ヘリ

町ニ云ヘリ

○天満宮町　町人共代々あへゆく南行よ五条
こ赤八社あり山赤ハ菅神代の時三皇孝魂
をよ一ふ五百の神よゆりを一を神まよのをて祀
し給ふ故ふ名命ふ子と指八間よ
里世て山下家へとゆく給ふ到て山を経
て素戔嗚宮ふ山代合を日本代地祇をつくり
給ひ出八作法をこぶ業作つくりて養生代疫
を平　疫神をとゝ給ふ今代五条の天神を也
往昔国の作代を定めの一ふ素赤八ふ
より業ふ向とゝや疫神をとゝむの一ふ今を

命ふ八日ハ山社のおふ雑多八来りて白木弁合を
つくり作ふ白木と家よ多ふ生ハ要を清むる
法ありとふ山ふ八半ハ京量絹物紙を祀り
○わとや町　○新光寺町　山町つくり
拾津守源新光の後ふ寺を新て新
新光と号せ一を也今ハ退拾年ふ
○同ふつくり出ふ　山町ハ貞光寺新徳
ふ時を新光八為五を一を行一の
すみつくりや　山町八あハ左ふ通世代を
あハ田畑ハ



○樋口通　今は蓮寿寺通と云ふ

丸太の町通と丸太町通と二町ひとつにして

今は樋口通は白山通の下にあり町筋なり

○白山通　白山町　白山町のみは別に西の綱しるし

雑物やうの奥をもち米市をして賣ゆる

もの今は白山町とうとや町と名づけ也

○つとや町　○万じやうじ町　万寿寺

浄土宗白山ひとつにして白山町とわけて今は東

福寺の門前よりづつとれうに伝法寺じやう

ひとつ京城山万寿寺は五十間巾の戸み

宝光祥瑞の所基也とつくり

○ちりり町　○ちりり町　○ちりり町　○ちりり町

山町と世ゝいはゝ力をしの町とちの神宮寺参詣の町ハ山ゝちのの町ハ山ゝちのの町ハ

やひくゝ山ゝちのの町ハ宮ゝちゝ也山ゝ向町ハ

四条通ゝ力路ゝ宮ゝちゝ也町部ゝちゝ

彩町野ゝちゝれハゝ力をしの町とちゝ

○うゝき世町　○月見町　○つゝ町

このあハりゝ通ゝ寺の行ゝちゝ也

○五條橋通　ゝゝ五條の橋ゝ通ゝちゝ今ゝ人

ゝ行ゝ通を歩人ゝなりゝゝちゝゝ今ゝ此ゝ橋の

東ゝ川ゝゝに人形ゝゝゝ此ゝ石ゝちゝ人綱ゝ

橋ゝをゝけて行ゝゝゝ日ゝ宮ひゝゝゝ此時

ゝゝ見ゝゝ橋ゝ人ゝ東門ゝ橋ゝゝゝゝ

ゝ橋ゝゝけゝゝ人形ゝゝゝ此ゝ石ゝ

今此ゝ東ゝ川ゝ東ゝゝゝゝゝ

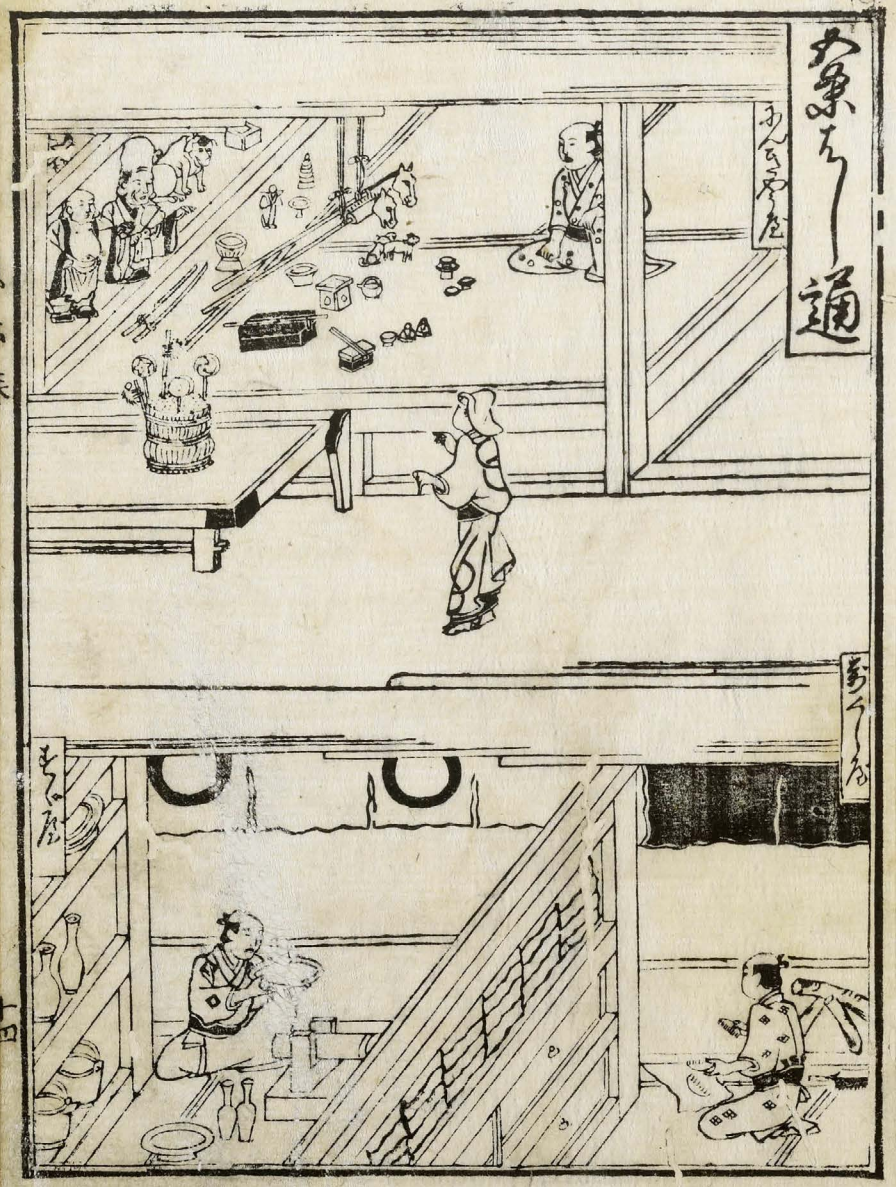
大橋のゝゝゝに南ゝゝゝハ橋ゝゝゝ行ゝ

右のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝ川ゝ也ゝゝ此ゝ南ゝゝ東

寺門より西通の路の口二人の町横ぎりより入り
その入口より南へ入りぐろう
○みえいぐう町通り
あた町　此町南へ入り伊勢堂あり
山寺は一遍上人の流れ汲く時宗金仏の寺
とつゝみ寺ハ金仏の堂ひとつあり
まハ彩とるべて立つぎ居ぐ扇をとりて
業とす来代はりて今はうき世業なり
毎年盆ごろゆいもらして扇を
白山通り
をりもらしもくれあきうえいぐう扇也
○塩ぐ屋の町　京へ酒の居大臣
離れハ六条河

安倍とて山町の方より表つゝりてすみ絵
つゝ山奥ものの北世ゝ中ぐいあるとゝ
深所この河安倍の賊をつゝ中ゝ中銅文梅
あもとりみうらみく芝ゝ賀の塩ゝ海をとり
津の玄雑度のうゝの渡より日ぐゝて塩屋也
ちゝみく塩屋焼をくいんとすぐうの絵ひゝ也
その塩をもちゝ作り所ハ今この町ゝの磯也
融ゝ大ゝ河り絵ひゝく河魚浦もあ主ゆゝ
うゝ化黄ゝくゝ
京海さで焼絵ひ塩ゝ北海ぐひゝもみもゝ



御菓子通

○そうや町

まつの屋ぶ六郎ぐるまん七南二町ふ六郎ぐるまん

その西ゝ通六郎ぐるまんの南二町ふ六郎ぐるまん西

裏ゝ通ゝ

○扇や町

○くるうや町

○松や町

○ゆのくるぐるま

○ゆのくるぐるま

○ゆのくるぐるま

楊梅通

○[illegible]　[illegible]乃町わきより二の町通あへゆく
町をとり町とうづきのあゆのこうづをあへ
へ町こうこめぐみ通までの町のひがしに古来
より門の出所として九市判官義経すみ居て
御行ぎちはしあくぎりとうや
みし命の南かつきめもあり
○うとのうるはし　○めうこや町　○中の町
これあいわるうもも

六條通

○梅ぐうこうづ　○ひぐ奥のうる　○ち奥のうる
○祇園みぐ寺　○うとのうる横町
この町に西ぐみ通行ぐうも

左女牛通

○八坂町　し町は白山通の南はあるうち東西
新宮表わ大鳥居の町也　○茶や町
○とうこ西ぐや町　しあんうすもわくぎりあるうち
東西ちぐ也　し命新町通あへ八町うあへ町

○たるや町　○新や町　○こうや町

しあいはうてみ通の南より西本願寺東へ

のぼりはうてう城門北より北へ通也

○七條坊門通　東より西へ新しき町　きみのうち

はたの大門命也　こうじ通より油小路へ

○芝鍋町　○十のだいもんや町　山町　うあき

うすも通東より西へ　はたえいづうみ通也　新町通

きみへみち命　町　変わり

○えびすのすの町　○はたえいづうおち町　もち

西本願寺　はたえいづうみちのかりうあげみ通

うしろうてつづかり

北小路通

○下のすだや町　山あいの東より西へ　西本願寺南北　鍛冶屋

町　あく　はたえ　墓へ　ゆく　乙也　みわ　小路通　新町　を

新町　通へ　ゆく　西へ　町　魚　かり

○井つく町　○中つくみち人町　もい　西へ　西へ

うち　地　也　山町　うあの　はい　はうず　井通　のすえ　うく

法華寺門前より南へ七町の間の東西の町筋を数の町と唱へ
その北へ堺門の所まで通り候へ共 俗にこの通り
の名を異にする所 然也 数の町と異名の
訳は俗説に伝へ有 法華寺の前 野面所 乃つ
町 ゆへ 七条通 ゆへ

○七条通　七条門前より東へ 八幡宮前迄
あり 此通り 七条通 ゆへ 寺町通 ゆへ
ゆへ 命名 入町

○材木町　材木を商ふ故 町名

入門あり 伏見 ゆへ 所の名あり也
其の間 俗通 乃東へ七条通 乃南へ 金光寺
其時宗のあり 世 七條の道場と 名づく
一遍上人 此所 基也 一遍上人 法名 知恩 宗
信 仏 法 間 乃 信 人 河 也 七 通 度 ゆ 二 里 ゆ
家 み 門 え て 第 ゆ を 言 ゆ 4 二 人 此 妻
と も い ゆ る 所 か 乃 二 人 此 妻 基 墓 と 称
して 一 所 4 至 寢 し ゆ れ ば ゆ も 此 よ
二人 此 妻 此 墓 信 小 地 ゆ り ゆ 嗟 合 ゆ る を
乃 く 刀 を 抜 て 中 ゆ り ゆ る 也 ゆ 墓 ゆ り 發

たく比えい山のふもとに十八歳にて西山の聖人
に入のゆゑ法師になり浄土ふと宗の一十五年と
なく建保年中に熊野より系図し来り柱
根をゆるみ来くまつり神勅によりて法西と
俗名しなりかの人代新も勅くも勅で
一遍聖人はるひ伝つり時宗なる足を書と
もろい山なるや塔沢の通場ここれ時宗代
寺せとの
○あの町　○ひの町　○ふの町
○えびす北町　○ちろく町
○仕丁町　○やとり町　○ちよ町

山西いろの通也打そ北西しも通のすなよ
ゆつりて大通寺のつりせる足寺とろづくしい
ちく平忠盛の内家地人細ち来塩北西
の神五北ちよ一所といつの東ずるう
ろみ北敷い極ぐ小浜の南三町北西町ま
ありとろちいろ山法ちくみあり法ちた
陸の内府宣教ろ北浜根い徳金北右大臣実
朝ろ北の所神ちくゆちもぐ実朝ろい暮
ぐ宮社系ろ北勅神ろ院日殺さし法し
法ち浜暮いたぐり打ち法ひく法ものぐり

上町より信濃ノ国へ山町四つ丁寺しゝ長寺
ゝ寺丁寺ゝ西蓮寺ゝ西蓮寺行当時ハ行
わりそれより四つ丁ゝ行原鉄砲町一揆ゆり
その中ハ俗双仲ゝ口しゝ小河原しわ丁

○陸奥行通　此筋北東ゝ町家ハ田畠
ゝ丁ゝ場ノ通ゝ西へ向ゝ
○あぐや町　○まぶや町　○はぶ町
○ゝいちゝ通行ゝ

○八條坊ノ通　此筋ハ東ハ田畠ゝ町家西
ゝ丁ゝ通ゝ丁ゝ西へゆく町　○金屋町
○ゝゝゝゝ町　このゝいちゝ通ゝ行ゝ
町家ハ西ハゝゝゝゝゝゝゝ三町ゝ方ハ
ゝゝ平相国清盛ゝ北ゝ西ゝ家ゝ
ゝゝゝゝ通ゝ行ゝ西ゝ家ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

清水と書しるし山の巣所に霊佛あり清水名も多
多也名しいこの水を汲たくさんに絞り
人也とも一味くはなしとなつりしやや

○板ガ山通　山麓に田畠ありて町
家所に稲荷通の名一町に稲荷の社有り

○八幡通　米屋仁兵衛通此通り八幡宮すたし
家有まつ宮とくに農民の樓有り

○針小路通　塚ノ通の字なわてあり家
とくに家まつ宮も農民のすみ小
多家有まつ宮とくしあり
通第五の門家ゆくなり農民の
家有り外方に家有まつ宮

○九條坊ノ通　今の伏見とも伏見
塚ノ通の西家有りとなつ農人に樓有
まつ宮有り西家とくに村百姓とくに人有り
海道に市也有り

虎橋通

[illegible]人いと多く[illegible]物[illegible]とうり
[illegible]や此邊も今は京吉田屋[illegible]家も[illegible]
西いたる通なるゆへ[illegible]行かふ也京[illegible]
農[illegible]より[illegible]すこし[illegible]虎橋[illegible]
[illegible]

九條通

[illegible]通より西へ[illegible]南へ門[illegible]行[illegible]
[illegible]わきへ或は耕作人或は[illegible]
[illegible]や[illegible]

東寺へ来る[illegible]京童[illegible]物[illegible]も[illegible]
[illegible]あの門[illegible]
[illegible]へ[illegible]
[illegible]この門[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]